

令和 4 年 6 月 10 日

各 位

大阪市天王寺区上本町5丁目3番15号
株式会社サイネックス
代表取締役社長 村田吉優
(東証スタンダード コード番号 2376)
問い合わせ先
常務執行役員企画開発本部長
吹ノ戸 忠
電話 06 - 6766 - 3333

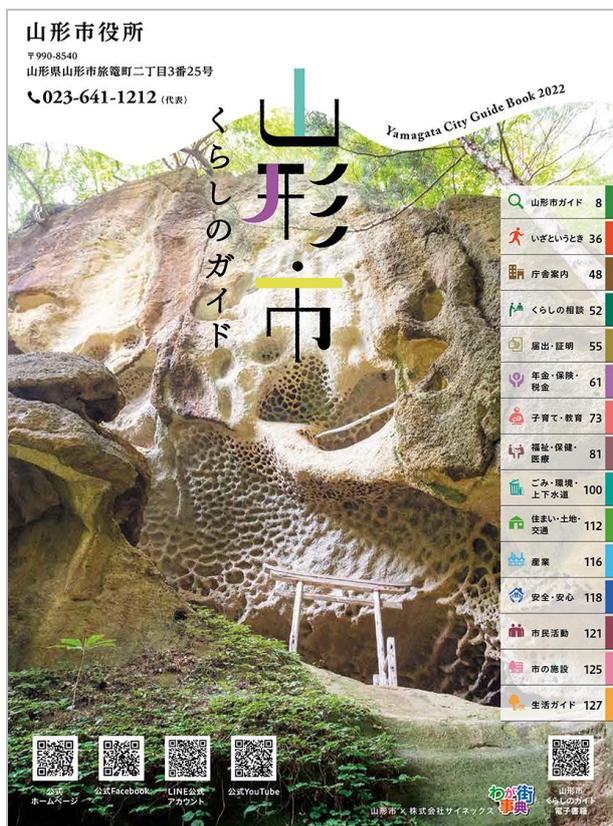
山形市との官民協働事業『山形市くらしのガイド』発刊のお知らせ

—— 行政情報誌統一ブランド『わが街事典』 ——

株式会社サイネックスは、山形県山形市（佐藤孝弘市長）と『山形市くらしのガイド』を共同発行いたしましたので、お知らせします。また、本発刊にて『わが街事典』共同発行自治体数は1,032、累計発行版数は2,173となります。

1. 『山形市くらしのガイド』の共同発行について

山形市とは、官民協働の精神に基づき、令和3年10月22日付にて『山形市くらしのガイド』を共同発行する旨合意しておりますが、今般、次のとおり発刊にいたしました。山形市との共同発行は平成20年4月の発刊以来4版目となります。この冊子は、知る人ぞ知るパワースポットの垂水遺跡を表紙に、山形市の行政情報を掲載するほか、冷やしラーメン等のご当地グルメや特産品の山形セルリーのブランド化をはじめ、中心市街地にオープンした七日町ルルタスや紅花交易が生み出した独自の蔵文化、馬見ヶ崎川の芋煮会等をガイドした総合地域情報誌として発行いたします。



発行：山形市・株式会社サイネックス

タイトル：『山形市くらしのガイド』

発行年月：令和 4 年 5 月

発行部数：108,200 部

内 容：行政情報

山形市ガイド

企業広告等

生活ガイド

行政情報誌統一ブランド『わが街事典』

地方自治体との官民協働事業として発行を進めております『市民便利帳』等行政情報誌の名称は、共同発行する自治体によりさまざまですが、統一ブランド『わが街事典』と命名し、地域を結ぶコミュニティメディアとしての位置付けを明確にしております。



2. 『わが街事典』発行の趣旨

地方経済において景気が低迷するなか、地域再生に向けて様々な取組みがなされております。官民協働による公共サービスの提供は、その取組みの中でも、重要な位置を占めるものと思われます。いわゆるパブリック・プライベート・パートナーシップ（PPP）の手法は、行政のみでは実現が困難なことでも、PPPを取り入れることにより可能となる新たな地域再生の取組みとして注目されています。

当社は、PPPの理念に則り、官民協働発行による行政情報誌『わが街事典』の発行を、行政に提案しております。官と民という文化や風土の異なる異分子結合により、化学反応を起こして相乗効果を発揮し、地域イノベーションが創出されるという発想です。

官民協働で発行することにより、行政情報のみならず、歴史や文化、特産品や観光など、当社が得意とする地域情報も掲載し、住民にとって利便性の向上のみならず、自分たちの街を再発見する効果ももたらします。一方、地域の事業者にとっては、全家庭に配布されるオフィシャルな媒体から、情報発信ができます。

当社は、地域社会の一員として、その再生に寄与するため、志を高く持ち、地域と協働して地域一体型コミュニティメディア、『わが街事典』の発行を進めてまいります。

以上

地方創生のプラットフォームへ

 株式会社サイネックス

<http://www.scinex.co.jp>